

## 【万葉古代学係彙報】（平成 30 年 1 月～平成 30 年 12 月）

### 平成 29 年度

- 1月6日 一般展示室「万葉集翻訳 Collection Part 2」の展示替え（1月6日～3月11日）。山梨県の東円寺の『万葉集』その他の来館相談に、井上さやか指導研究員（以下、井上研究員）が対応。
- 1月17日 雑誌「Discover Japan」（エイ出版）の「はじまりの奈良」コーナー記事取材に井上研究員が対応（3月号掲載）。古典籍の撮影について、吉原啓主任技師（以下、吉原技師）と大谷歩主任技師（以下、大谷技師）が対応。  
講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「大伴家持と久邇京（770～774 番歌）」を講義。
- 1月21日 粟主催の「はじまりの奈良フォーラム」（会場：ならまちセンター cotocoto）において、井上研究員が「はじまりの奈良—万葉集」と題して講演。
- 1月27日 第77回万葉古代学講座において、吉原技師が「飛鳥と地方の往還—地方豪族たちの戦略—」と題して講演。
- 2月4日 奈良市中部公民館主催の「知れば知るほど好きになる奈良（第4弾）」（会場：奈良市中部公民館）において、井上研究員が「大伴家持生誕1300年に寄せて」と題して報告し、西山厚氏（帝塚山大学教授）、馬場基氏（奈良文化財研究所主任研究員）と鼎談。
- 2月6日 月刊誌「御堂さん」の明日香川の橋に関する取材に、井上研究員が対応。
- 2月10日 第78回万葉古代学講座において、大谷技師が「浄刹への願い—山上憶良と仏教思想—」と題して講演。
- 2月12日 淡海万葉の会が大津市に設置した万葉歌碑の外国語訳についての来館相談に、井上研究員と吉原技師が対応。
- 2月17日 霊山寺塾（会場：霊山寺）において、井上研究員が「万葉歌にみる古代寺院」と題して講演。  
万葉文化館ボランティア研修において、大谷技師が「万葉集の基礎知識」と題して講義。
- 2月18日 万葉文化館ボランティア研修において、井上研究員と吉原技師が実地研修Ⅱの講師を務める。
- 2月21日 講座「万葉集をよむ」で、吉原技師が「大伴家持と紀女郎、ふたたび（775～782 番歌）」を講義。
- 2月22日 NHK番組「ネーミングバラエティー 日本人のおなまえっ！」の撮影に井上研究員と大谷技師が対応（11/20 放送）。
- 2月25日 香芝検定実行委員会・中央公民館共催講座（会場：香芝市中央公民館）において、井上研究員が「香芝市と『万葉集』」と題して講演。  
第10回委託共同研究「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」（研究代表者：乾善彦氏・関西大学教授）の第9回共同研究会を開催（会場：万葉文化館）。
- 2月26日 第10回委託共同研究「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」（研究代表者：乾善彦氏・関西大学教授）の第10回共同研究会を開催（会場：関西大学）。
- 2月27日 明日香小学校4年生の館内学習において、大谷技師が「『万葉集』と明日香」と題して講師を務める。
- 2月28日 万葉文化館所蔵古典籍の一部を写真撮影。（～3月3日）
- 3月2日 みさと万葉プロジェクト主催のみさと万葉文化講演会（会場：三郷町立図書館）において、井上研究員が「龍田道の丘辺の道」と題して講演。
- 3月10日 古都飛鳥保存財団主催の「あすか塾」（会場：祝戸荘）において、井上研究員が「蘇我馬子と山斎」と題して講演。  
橿原考古学研究所附属博物館・特別陳列「万葉集の考古学」の連携講座として、鶴見泰寿氏（橿原考古学研究所附属博物館・指導学芸員）が「万葉集の考古学」と題して講演。

- 3月16日 一般展示室「万葉集と木簡」の展示替え（3月17日～5月6日）。  
第6回主宰共同研究「神話の視覚化に関する比較文化的研究—記紀万葉を軸に—」の第3回共同研究会を開催。
- 3月17日 第6回主宰共同研究「神話の視覚化に関する比較文化的研究—記紀万葉を軸に—」の第4回共同研究会を開催。
- 3月18日 第6回主宰共同研究「神話の視覚化に関する比較文化的研究—記紀万葉を軸に—」の第5回共同研究会を開催。
- 3月22日 大淀町主催の大淀町高齢者学級平成29年度閉校式（会場：大淀町文化会館）において、井上研究員が「吉野行幸と万葉歌」と題して講演。
- 3月28日 講座「万葉集をよむ」で、大谷技師が「大伴家持と藤原久須磨（783～792番歌）」を講義。
- 3月31日 奈良テレビ制作「ゆうドキッ！」の撮影に井上研究員が対応（4月4日放送）。

#### 平成30年度

- 4月1日 大谷技師が主任研究員に昇任（以下、大谷研究員）。
- 4月5日 奈良県立大学ユーラシア研究センター主催の「近世奈良を語る会」に、井上研究員が客員研究員として参加。
- 4月14日 芦屋市立美術博物館の展覧会「万葉のシーズン—奈良県立万葉文化館 季節のコレクション—」のオープニング記念講演会（会場：芦屋市立美術博物館）において、吉原技師が「古代の芦屋と万葉集—葦屋処女 伝承をめぐって—」と題して講演。
- 4月16日 奈良県立大学ユーラシア研究センター主催の「近世奈良を語る会」に、井上研究員が客員研究員として参加。
- 4月18日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「巻五の性格（793番歌）」を講義。
- 4月20日 みさと万葉学習会（会場：三郷町立図書館）において、吉原技師が「大和国をまとめる祭—龍田風神祭の役割—」と題して講演。
- 4月21日 大和文化会（会場：銀座プロッサム）において、井上研究員が「『万葉集』とジャポニスム—8世紀の日本・19世紀の欧州、そして〈今〉を繋ぐもの—」と題して講演。
- 4月30日 第35回万葉古代学東京講座において、井上研究員が「大伴家持と防人歌」と題して講演。第16回夕星万葉において、大谷研究員が「『万葉集』巻1（50～53番歌）持統天皇代⑦」と題して講義（いずれも会場は築地社会教育会館）。
- 5月11日 みさと万葉学習会（会場：三郷町立図書館）において、井上研究員が「大伴家持防人関係歌群における龍田」と題して講演。
- 5月13日 一般展示室「万葉集と木簡」の展示替え（5月12日～7月11日）。  
「記紀万葉ウォーク27 春の竜田・斑鳩を巡る」において、大谷研究員が引率講師を務める。
- 5月16日 講座「万葉集をよむ」で、吉原技師が「死者を悼む詩文（漢詩文）」を講義。
- 5月17日 2度目の飛鳥めぐりの会の研修会（会場：祝戸荘）において、井上研究員が「『万葉集』と明日香」と題して講演。
- 5月19日 沖縄県立美術館・博物館主催の「博物館文化講演会」において、井上研究員が「阿児奈波と大和」と題して講演。沖縄県立美術館・博物館に当館蔵の万葉衣裳を貸し出し、井上研究員が衣裳体験会に協力。
- 5月23日 第11回万葉文化館委託共同研究にかかる審議会を開催。
- 5月29日 奈良県立大学ユーラシア研究センター主催の「近世奈良を語る会」に、井上研究員が客員研究員として参加。
- 5月30日 西の京高校の授業「奈良 TIME」（会場：西の京高校）において、井上研究員が「『万葉集』と明日香」と題して講義。
- 5月31日 奈良歴史研究会において、吉原技師が「『正暦寺起縁』所収の八・九世紀の宇陀郡売券について」と題して研究発表。

- 6月12日 万葉文化館所蔵古典籍の一部を写真撮影。(～15日)
- 6月17日 第36回万葉古代学東京講座において、吉原技師が「大伴家持と越中国」と題して講演。第17回夕星万葉において、井上研究員が「『万葉集』巻1(54～61番歌)文武天皇代①」と題して講義(いずれも会場は築地社会教育会館)。
- 6月20日 講座「万葉集をよむ」で、大谷研究員が「山上憶良の日本挽歌(794～799番歌)」を講義。
- 6月23日 第11回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描いた記紀・万葉集—」(研究代表者:橋本裕之氏)の第1回共同研究会を開催。
- 6月24日 第11回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描いた記紀・万葉集—」(研究代表者:橋本裕之氏)の第2回共同研究会を開催(会場:万葉文化館)。
- 7月1日 美夫君志会全国大会において、大谷研究員が「遣新羅使人と古挽歌の誦詠—行旅の歌と歌の場をめぐって—」と題して研究発表。
- 7月8日 第37回万葉古代学東京講座において、大谷研究員が「大伴家持の越中三賦—二上山・布勢水海・立山の賦をよむ—」と題して講演。第18回夕星万葉において、吉原技師が「『万葉集』巻1(62～63番歌)文武天皇代②」と題して講義(いずれも会場は築地社会教育会館)。
- 7月13日 一般展示室「万葉集と木簡」の展示替え(7月14日～9月30日)。
- 7月14日 特別展「マンガで語る古代大和—学術と創造の融合—『天上の虹』にみる創造の世界」を開催(～9月30日まで)。企画普及係(主担当)に万葉古代学係が展示企画から展示作業まで共同で行う。
- 7月15日 王寺町教育委員会主催の「歴史リレー講座 大和の古都はじめ」(会場:王寺町地域交流センター リーベルホール)において、井上研究員が「万葉歌によまれた〈やまと〉」と題して講演。
- 7月18日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「惑へる情を反さしむるの歌(800～801番歌)」を講義。
- 7月21日 近畿ESDコンソーシアム主催の「『万葉集』を活用した教材づくり」研修会(会場:万葉文化館)において、井上研究員が講師を務める。  
こども万葉教室で、「世界に一つだけの勾玉をつくろう!」を2回実施。吉原技師が講師を務める。
- 7月22日 入江泰吉旧居主催講座において、吉原技師が「万葉集の基礎知識①」と題して講義。研究会飛鳥において、井上研究員が「大伴家持「賀陸奥国出金詔書歌」」と題して研究発表。
- 7月25日 まほろば歴史同好会50回記念例会(会場:橿原観光ホテル)において、大谷研究員が「持統天皇の行幸理念—吉野・伊勢行幸をめぐって—」と題して講義。
- 8月5日 明治150年記念シンポジウム「文学におけるジャポニズム」(会場:万葉文化館)において、「日本の昔話・伝説・神話の明治期ドイツ語訳—ダーフィット・ブラウンス『日本の昔話と伝説』(1885)—」加藤耕義氏(学習院大学教授)、「明治時代の『平家物語』の外国語訳」マイケル・ワトソン氏(明治学院大学教授)の基調講演を行った後、加藤氏・ワトソン氏と井上研究員(司会)によるパネルディスカッション「文学におけるジャポニズム」を実施。
- 8月10日 近畿ESDコンソーシアム主催の「『万葉集』を活用した教材づくり」研修会(会場:万葉文化館)において、井上研究員が講師を務める。
- 8月12日 入江泰吉旧居主催講座において、大谷研究員が「万葉集の基礎知識②」と題して講義。
- 8月15日 講座「万葉集をよむ」で、吉原技師が「子らを思へる歌(802～803番歌)」を講義。
- 8月17日 古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥学冠位叙任試験」問題作成委員会に、同委員として井上研究員が参加。
- 8月18日 第6回主宰共同研究「神話の視覚化に関する比較文化的研究—記紀万葉を軸に—」

- の第6回共同研究会を開催。
- 8月19日 第6回主宰共同研究「神話の視覚化に関する比較文化的研究—記紀万葉を軸に一」の第7回共同研究会を開催。
- 8月21日 ノートルダム清心女子大学・東城ゼミ一行が来館し、大谷研究員が館内を案内。
- 8月23日 桜井市観光ボランティアガイドの会の研修会（会場：万葉文化館）において、大谷研究員が「万葉集の基礎知識」と題して講義。
- 8月24日 奈良県デジタルズビューロー主催「奈良ファン倶楽部 解説付き特別拝観「万葉集と飛鳥」」（会場：万葉文化館）において、井上研究員が講師を務める。
- 8月26日 万葉古代学東京特別講座（会場：日本橋社会教育会館）第1部において、井上研究員が「家持の青春時代」、大谷研究員が「情悲しも 独りしおもへば一家持と毛詩」、吉原技師が「国司としての家持」と題して講義。第2部において、井上研究員・大谷研究員・吉原技師による鼎談「飛鳥の魅力を語る」を開催。
- 9月1日 歴史に憩う橿原市博物館主催の「シアワセのカタチ」展講演会（会場：同館）において、井上研究員が「しあわせとは何か—『万葉集』から考える—」と題して講演。
- 9月2日 桜井市立図書館主催の図書館文化講座（会場：同図書館）において、吉原技師が「『檜原』と万葉集」と題して講演。
- 9月7日 橿原ロータリークラブ月例卓話（会場：THE KASHIHARA）において、井上研究員が「橿原市ゆかりの万葉歌」と題して講義。
- 9月9日 第11回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描いた記紀・万葉集—」（研究代表者：橋本裕之氏）の第3回共同研究会を開催。
- 9月11日 奈良県立大学ユーラシア研究センター主催の「近世奈良を語る会」に、井上研究員が客員研究員として参加。
- 9月14日 奈良ファン倶楽部のウォークイベント「万葉集と近世の旅」において、吉原技師が引率講師を務める。
- 9月15日 近畿ESDコンソーシアム主催の「『万葉集』を活用した教材づくり」研修会（会場：万葉文化館）に、井上研究員が参加。
- 9月19日 講座「万葉集をよむ」で、大谷研究員が「世間の住り難きを哀しびたる歌（804～805番歌）」を講義。
- 9月22日 第15回万葉古代学公開シンポジウム「万葉集をよんだ人々・人々のよんだ万葉集」を開催。第10回委託共同研究「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」（平成28・29年度実施。研究代表者・乾善彦氏（関西大学教授））の成果報告として実施。稲村和子万葉文化館長による開催挨拶の後、「趣旨説明 万葉集をよんだ人々・人々のよんだ万葉集」乾善彦氏、「報告1 新たな万葉集伝本群の発見—万葉集平仮名傍訓本—」田中大士氏、「報告2 『古今和歌六帖』の万葉歌—平仮名で書かれた万葉歌—」池原陽斉氏、コメンテーター新沢典子氏、「報告3 禁裏御本『万葉集』における今川範政—中世から近世への万葉集受容—」大石真由香氏、コメンテーター城崎陽子氏による報告の後、総括討論を上記六名のほか、樋口百合子氏、景井詳雅氏を加え、乾氏の司会により行った。
- 9月26日 NPO法人のべおか天下一市民交流機構主催の「能楽講座」（於 延岡まちづくりセンター）で、井上研究員が「『万葉集』『風土記』からみる「恋の重荷」「羽衣」と題して講演。
- 9月28日 京都大学・稲村教授と昆明大学一行が来館し、井上研究員が館内を案内。
- 10月5日 一般展示室「万葉集と木簡」の展示替え（10月6日～12月24日）。
- 10月6日 東京都中央区主催・奈良まほろば館共催の中央区民カレッジ「『万葉集』を読む—大伴家持生誕1300年—」（於 奈良まほろば館）で、井上研究員が「大伴家持と外国文化」と題して講演。
- 10月7日 万葉の日記念フォーラムで、女優・松坂慶子氏と井上研究員が「古代に生きた女性たち」と題して対談。

- 第11回委託共同研究「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描いた記紀・万葉集—」（研究代表者：橋本裕之氏）の第4回共同研究会を開催（会場：万葉文化館）。
- 10月8日 アスペン・エグゼクティブ・セミナー一行が視察来館し、吉原技師が館内案内。
- 10月12日 明日香村八釣地区において、井上研究員・大谷研究員・吉原技師がフィールド調査を実施。
- 10月13日 東海旅客鉄道株式会社主催の「第162回奈良学文化講座 二上山幻想—大津皇子の悲劇と當麻寺の1300年—」で、村田右富実関西大学教授の「大津皇子—歌とストーリー—」と題した講演の後、井上研究員が「二上山を弟世とあが見む—古代當麻の面影を辿る—」をテーマに現地踏査の講師を務める。
- 10月16日 明日香村八釣地区において、井上研究員・大谷研究員・吉原技師がフィールド調査を実施。
- 10月17日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「龍の馬も今も得てしか（806～809番歌）」を講義。
- 10月18日 東京都立南多摩中等教育学校が来館し、吉原技師が館内案内・富本銭作り体験解説・古代衣裳解説を担当。
- 10月21日 奈良芸術短期大学主催の「歴史公開講座 『記・紀』『万葉集』に見える橿原と飛鳥」（於同大学）で、前園実知雄教授による「『記・紀』『万葉集』と越智岡の陵墓」とともに、井上研究員が「『万葉集』のなかの橿原」と題して講演。
- 10月28日 「記紀万葉ウォーク 28 狛峠からかぎろひの丘へ」において、吉原技師が引率講師を務める。
- 11月3日 第6回主宰共同研究「神話の視覚化に関する比較文化的研究—記紀万葉を軸に—」の第8回共同研究会を開催。
- 11月4日 第6回主宰共同研究「神話の視覚化に関する比較文化的研究—記紀万葉を軸に—」の第9回共同研究会を開催。
- 11月8日 朝日新聞の取材に吉原技師が対応（11月16日掲載）。
- 11月11日 二上山博物館主催の「平成30年度第4回公開講演会」（於 ふたかみ文化センター）で、井上研究員が「二上山と三輪山—万葉集にみる大和の東西—」と題して講演。
- 11月15日 奈良ロータリークラブ主催の月例会（於 奈良ホテル）で、井上研究員が「大和と日向」と題して講演。
- 11月17日 天理市山の辺文化会議主催の「山の辺文化講座」（於 天理市文化センター）で、井上研究員が「大伴家持生誕1300年によせて」と題して講演。
- 11月18日 万葉古代学特別講座「古事記・日本書紀ナナメよみ」において、瀧玲子氏（漫画家／名古屋デザイン&テクノロジー専門学校専任講師）、白井光子氏（株式会社童夢）、井上研究員が講演。
- 11月21日 講座「万葉集をよむ」で、吉原技師が「大伴旅人の日本琴の歌（810～812番歌）」を講義。
- 11月27日 奈良芸術短期大学の「明日香学講座」において大谷研究員が「明日香（飛鳥）と万葉(1)」と題して講義。
- 11月28日 館内において研究員の個人研究報告会を実施。
- 12月4日 奈良芸術短期大学の「明日香学講座」において吉原技師が「明日香（飛鳥）と万葉(2)」と題して講義。
- 12月11日 奈良県立大学ユーラシア研究センター主催の「近世奈良を語る会」に、井上研究員が客員研究員として参加。
- 12月12日 講座「万葉集をよむ」で、大谷研究員が「鎮懐石の歌（813～814番歌）」を講義。ほへとの会一行が来館し、吉原技師が館内を案内。
- 12月13日 古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥学冠位叙任試験」問題作成委員会に、同委員として井上研究員が参加。

- 12月20日 生駒市自主学習グループ・万葉マナビの会主催の市民公開講座（於 生駒市コミュニティーセンター）において大谷研究員が「朝川を渡る女―但馬皇女の恋歌をよむ―」と題して講演。
- 12月22日 第79回万葉古代学講座において、井上研究員が「大伴家持の金を出せる詔書を賀ける歌」と題して講演。

※肩書き・題目などは、すべて当時のもの。

◆**展覧会・イベント等への学術情報提供**

展覧会「万葉の装い―額田王から淀殿、そして今へ―」（3月17日～5月6日）

- ・古代衣装に関する解説シートの提供

特別展「広重一雨、雪、夜 風景版画の魅力をもとく―」（5月12日～7月1日）

- ・古代の東海道に関する解説シート「古代の東海道と万葉歌」の提供

にぎわいフェスタ万葉 冬（1月～3月）

- ・コンサート配布プログラムにおける万葉歌紹介（2公演）
- ・映画上映会配布プログラムにおける万葉歌紹介（2公演）

にぎわいフェスタ万葉 春（4月～5月）

- ・コンサート配布プログラムにおける万葉歌紹介（3公演）
- ・映画上映会配布プログラムにおける万葉歌紹介（1公演）
- ・万葉衣装体験の配布資料における万葉歌紹介

にぎわいフェスタ万葉 夏（7月～9月）

- ・映画上映会配布プログラムにおける万葉歌紹介（1公演）
- ・万葉こども教室における配布資料の提供
- ・「巨大めいろ & 万葉クイズに挑戦!」の万葉クイズの提供
- ・「七夕のささ飾り」の配布資料における万葉歌紹介

にぎわいフェスタ万葉 秋（9月～11月）

- ・コンサート配布プログラムにおける万葉歌紹介（1公演）
- ・映画上映会配布プログラムにおける万葉歌紹介（1公演）
- ・平成万葉市 万文講談「乙巳の変」における配布資料の提供

にぎわいフェスタ万葉 冬（12月～）

- ・コンサート配布プログラムにおける万葉歌紹介（1公演）

◆**専任研究員のおもな業績（平成30年1月～平成30年12月）**

井上 さやか

[研究論文]

- 「謡曲「三輪」における〈古代〉」（『万葉古代学研究年報』第16号）、平成30年3月
- 「古代詩歌と飛鳥京苑池―万葉古代学として―」（『中京大学文学会論叢』第4号）、平成30年3月

[監修]

- 『マンガはじめて読む 古事記と日本書紀』（ナツメ社）、平成30年10月

[書評・評論など]

- 「恋と死と―『万葉集』の泊瀬」（『まほら』第94号）、平成30年1月
- 「記紀万葉とジャポニスム」（『日本文学』第67巻第12号）、平成30年12月
- 「家持と坂上郎女」（高志の国文学館編『歌人 大伴家持―現代と響き合う詩心―』）、平成30年3月

[図録など]

- 「解説」2008年・2011年・2014年・2017年〈各年春・夏・秋・冬〉（『奈良信用金庫創業90周年記念 型絵染で描く万葉の風景』）、平成30年7月

[その他]

- 「はじめての万葉集 vol.45 ウサギとをさぎ」(「県民だより奈良」2018年1月号〔第379号〕、奈良県広報広聴課)、平成30年1月
- 「石上の人びと—万葉集と懐風藻—」(山の辺文化講座会報)、平成30年1月
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年1月10日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年1月24日)
- 「はじめての万葉集 vol.48 ヒバリになりたい」(「県民だより奈良」2018年4月号〔第382号〕、奈良県広報広聴課)、平成30年4月
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年4月4日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年4月18日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年6月27日)
- 「はじめての万葉集 vol.51 真幸くあらば」(「県民だより奈良」2018年7月号〔第385号〕、奈良県広報広聴課)、平成30年7月
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年7月11日)
- 「橿原市ゆかりの万葉歌」(橿原ロータリークラブ月報)、平成30年9月
- 「はじめての万葉集 vol.54 大君は神にし坐せば」(「県民だより奈良」2018年10月号〔第388号〕、奈良県広報広聴課)、平成30年10月
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年10月3日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年10月17日)
- 「大和と日向」(奈良ロータリークラブ月報)、平成30年11月

大谷 歩

[研究論文]

- 「近江朝漢文學的繼承與發展—以日本古代和歌與漢詩的交流爲中心」(中国語訳：勾艶軍氏)(「國際中国文學研究叢刊」第5集)平成29年12月
- 「山上憶良の悼亡詩文—愛河から浄刹へ—」(「万葉古代学研究年報」第16号)平成30年3月
- 「柿本人麻呂の漢籍受容とその作品形成—吉野行幸従駕歌と山水詩をめぐって—」(「万葉古代学研究年報」第16号)平成30年3月

[研究発表]

- 「遣新羅使人と古挽歌の誦詠—行旅の歌と歌の場をめぐって—」(美夫君志会大会)平成30年7月
- 「新羅使と長屋王の饞宴詩」(第14回東アジア比較文化国際会議日本大会)平成30年9月

[書評・評論など]

- 平成28年 国語国文学界の動向(上代韻文)「東アジア文学研究に向かって」(「文学・語学」第223号)平成30年11月

[図録など]

- 「解説」2010年・2013年・2016年〈各年春・夏・秋・冬〉・2018年〈夏・秋〉(『奈良信用金庫創業90周年記念 型絵染で描く万葉の風景』)、平成30年7月

[その他]

- 「はじめての万葉集 vol.47 幸運の犬」(「県民だより奈良」2018年3月号〔第381号〕、奈良県広報広聴課)、平成30年3月
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年3月7日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年3月21日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年5月30日)
- 「はじめての万葉集 vol.50 聖は聖を知る」(「県民だより奈良」2018年6月号〔第384号〕、奈良県広報広聴課)、平成30年6月
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年6月13日)

- 「はじめての万葉集 vol.53 蒲生野の遊獵」(「県民だより奈良」2018年9月号〔第387号〕、奈良県広報広聴課)、平成30年9月
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年9月5日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年9月19日)
- 「はじめての万葉集 vol.56 麻統王の伝承」(「県民だより奈良」2018年12月号〔第390号〕、奈良県広報広聴課)、平成30年12月
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年11月28日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年12月12日)

吉原 啓

[研究論文]

- 「古代難波・住吉地域における生業と貢納—延喜式・万葉集・考古資料から—」(「万葉古代学研究年報」第16号)、平成30年3月

[研究発表]

- 「『正暦寺起縁』所収の八・九世紀の宇陀郡売券について」(奈良歴史研究会5月例会)平成30年5月
  - 「国司巡行における「観風俗、問百年」の意義」(檀原考古学研究所談話会)平成30年12月
- [図録など]
- 「解説」2009年・2012年・2015年〈各年春・夏・秋・冬〉・2018年〈冬・春〉(『奈良信用金庫創業90周年記念 型絵染で描く万葉の風景』)、平成30年7月

[その他]

- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年2月7日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年2月21日)
- 「はじめての万葉集 vol.46 恐ろしいもの」(「県民だより奈良」2018年2月号〔第380号〕、奈良県広報広聴課)、平成30年2月
- 「飛鳥池工房遺跡から発見されたもの」(「万葉図書・情報室だより」第50号、平成30年3月)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年5月2日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年5月16日)
- 「はじめての万葉集 vol.49 「磐姫」というイメージ」(「県民だより奈良」2018年5月号〔第383号〕、奈良県広報広聴課)、平成30年5月
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年7月25日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年8月8日)
- 「はじめての万葉集 vol.52 情報の取捨」(「県民だより奈良」2018年8月号〔第386号〕、奈良県広報広聴課)、平成30年8月
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年10月31日)
- 「やまと万葉がたり」(毎日新聞〈奈良版〉、平成30年11月14日)
- 「はじめての万葉集 vol.55 「とこをとめ」への願い」(「県民だより奈良」2018年11月号〔第389号〕、奈良県広報広聴課)、平成30年11月

## 万葉文化館 顧問・客員研究員・研究協力員等一覧

(平成31年1月現在)

### (1) 名誉館長

中西 進 (富山県立高志の国文学館館長)

### (2) 研究顧問

寺川 眞知夫 (元万葉古代学研究所長、同志社女子大学名誉教授)

上野 誠 (元万葉古代学研究所副所長、奈良大学教授)

松尾 光 (元万葉古代学研究所副所長、早稲田大学非常勤講師)

### (3) 客員研究員

坂本 信幸 (高岡市万葉歴史館館長)

菅谷 文則 (奈良県立橿原考古学研究所長)

千田 稔 (奈良県立図書情報館長)

辰巳 和弘 (元同志社大学教授)

田辺 征夫 (公益財団法人大阪府文化財センター理事長)

湯山 賢一 (神奈川県立金沢文庫文庫長、東大寺ミュージアム館長)

和田 萃 (京都教育大学名誉教授)

影山 尚之 (武庫川女子大学教授)

### (4) 共同研究員

#### 主宰共同研究員

松村 一男 (和光大学教授)

菅原 真弓 (大阪市立大学教授)

#### 委託共同研究員

橋本 裕之 (大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員)

しもかわら ゆみ (イラストレーター・絵本作家)

金子 由郎 (日本アニメーション文化財団理事)

水野 良亮 (アニメーター)

### (5) 研究協力員

松田 信彦 (元万葉古代学研究所主任研究員、鹿児島工業高等専門学校教授)

西地 貴子 (元万葉古代学研究所研究員、福岡女学院大学非常勤講師)

大館 真晴 (元万葉古代学研究所主任研究員、宮崎県立看護大学准教授)

曹 咏梅 (元万葉古代学研究所主任研究員、神奈川大学非常勤講師)

垣見 修司 (元万葉古代学研究所職員、同志社大学准教授)

竹本 晃 (元万葉古代学研究所主任研究員、大阪大谷大学専任講師)

小倉 久美子 (元万葉古代学研究所主任研究員、京都造形芸術大学非常勤講師)